

ポリテックビジョン 98 を開催して



雇用促進事業団 職業能力開発指導部 大学校指導課

ポリテックビジョン 98は、「ものづくり」新たな展開と人材育成」をメインテーマとして、平成10年2月25日(水)~27日(金)の3日間、千葉県幕張の海外職業訓練協力センター(OVTA)および高度職業能力開発促進センター(高度ポリテクセンター)で開催しました。

これは、全国の職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ)等で行われている多様な職業能力開発に関する研究開発等の成果を広く一般にアピールすることによって、職業能力開発の可能性と将来像を追求するとともに、事業主団体等が必要としている高付加価値化・新分野展開等に対応できる研究開発力、また、その人材育成のための教育訓練方法等のノウハウを、雇用促進事業団を通じて習得できること等を周知することが目的です。

内容は、研究成果の展示(期間中の3日間)、特別講演(第1日目)、研究開発発表(第2日



研究成果の展示

目)、カンコロジーロボット競技会(第3日目)で構成しました。

開催期間中を通して行った「研究成果の展示」は、事業団の全ポリテクカレッジから出展された、約150点の特徴ある卒業製作研究の成果を公開したもので、その教育訓練水準の高さをアピールすることができました。特に「ひとにやさしいものづくり」として環境・安全・福祉をテーマとした展示コーナーでは、今後のものづくりの方向性について若干の示唆を与えることができたと思われます。

その一例としては、音声によって進行方向を制御する「音声認識車椅子」、感電の危険がなく音声信号を確実に伝送する「プラスチック光ファイバを用いたナースコール」、イメージスキャナにより印刷物の文字を読み取り音声読み上げや文字の拡大を行う「視覚障害者支援ソフトウェア」等があり、その実用性の高い成果物に多くの注目を集めていました。

第1日目に行われた「特別講演」は、NHKスペシャル「新電子立国」の制作者である相田洋氏(NHKエグゼクティブディレクター)による『「ソフトウェアの時代」NHKスペシャル「新電子立国」を取材して』というテーマの講演であり、テレビ放映された内容についてさらに掘り下げるとともに、その取材の過程で得られた膨大な資料の中から、特にポリテックビジョン 98のテーマの「ものづくり新たな展開と人材育成」に相応しい内容について集約したものでした。

相田氏は、「現在のものづくりにおいては、ソフトウェアが非常に重要なファクターとなっており、



講演中の相田 洋氏

多くの製品価値を決める要素となっている。ソフトウェアというと、日本はどうも米国等に比較して劣性を強いられているように見受けられるが、それはコンピュータのOS等の基本ソフトや表計算等のアプリケーションソフトについてであり、NC工作機械、自動車、家電等の製品に組み込まれたソフトウェアについては、かなりの優位性を誇っていることも事実である。ものづくりでは、これら機械等の能力を100%引き出す等、製品の価値を高めるうえで、製品を制御するソフトウェアが非常に大きなウエイトを占めている。しかしながら今後のものづくりにおいては、ソフトウェアの開発のみではなく、そのソフトウェアが制御する対象物（工作機械、エンジン等）の基本技術を追求することをおろそかにしてはならない」という内容について多くの事例を用い、かつ巧みな話術によって表現され1000名を超える聴衆を魅了したものと思われる。

第2日目に行った「卒業製作・研究の成果の発表」は、ポリテクカレッジの学生による2年間の訓練の成果で「ものづくり」に立脚したテーマについて、各ポリテクカレッジから1テーマずつ発表するものです。そのテーマについては、全国、26ヵ所設置されているポリテクカレッジの豊富なノウハウと地域ニーズを反映した独創的なものでした。

各発表からは、日頃の製作・研究への熱心な取り組みとその成果のレベルの高さ、かつ発表に向けての努力を感じ取ることができ、発表者のみならず、全国のポリテクカレッジの学生の意気込みに対して来場者から高い評価を得たものと思われる。

また、同時に行った「職業能力開発事業研究開発



研究開発成果発表

成果の発表」は、ポリテクカレッジにおいて実施している、事業主団体等に対して行われる技術的相談援助を目的とした研究開発の成果と、ポリテクセンターにおいて実施されるオーダーメイド型訓練等の事業主団体方式等による事業展開の好事例について発表するものであり、その研究開発レベルの高さと実用性について、特に事業主団体、企業等の方々から高い評価を得たものと思われる。

第3日目に行った「カンコロジーロボット競技会」は、学生が卒業製作として競技規則に沿って製作した自立型ロボットによる競技会で、昨年に続いて第2回目の開催となりました。その技術レベルおよびアイデアは、大幅に向上してきており、技術向上に伴い競技としての面白味も増し、観客も大いに楽しめるものとなりました。

詳細については、次ページ以降にカンコロジーロボット競技会の特集記事を掲載しておりますので参照してください。

ポリテックビジョン98の参加者は3000名を超え、多くの方々に「ものづくり」新たな展開と人材育成」の必要性とその可能性について理解していただいたと思っています。

今年度においてもポリテックビジョン99を2月下旬に開催することとし、昨年度を上回る参加者を期待して、開催内容等の検討を含めた準備を進めているところです。ぜひ今後の広報等をご覧いただき、参加に向けた準備をお願いいたします。